

SSH活動報告

バイオ医薬品会社をお招きしてサイエンス講座を開催(10月31日)

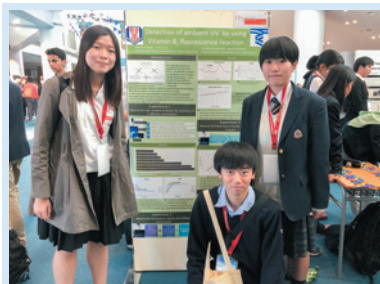


中部部3年A組 小島 嵩史

今回のサイエンス講座では、製薬会社の研究者の方による講義を受けました。講義では、私たちが普段使っている医薬品の製造過程でどのような研究・調査が行われているのか、そして現在研究開発が進められている最先端の医薬品などについて、グループワークを交えながらとてもわかりやすく学ぶことができました。また、研究者の方とさまざまなお話をすることができ、研究発表における大勢の前でのプレゼンテーションのコツ、研究者として大切なこと、研究者になる方法などを直接教えていただいたことは、生命医科学系の研究、そして研究者という仕事に興味のある私にとってはとても貴重な経験になりました。また今回の講義を受けて、多くの命を救うことができる生命医科学の研究への憧れがより一層強くなりました。

私は現在ミドリムシに関する研究を行っており、外部の学会での発表も控えているため、今回得られた貴重なアドバイスを今後の自分の研究活動に活かしていきたいです。

台湾の高校生との共同研究について情報を交換(11月1日～5日／滋賀県草津市)



2年10組 宮林 智加

このたび、共同研究の成果発表のために立命館高校で行われたJSSFに参加してきました。ルームメイトはロシア人にベトナム人、フィリピン人にオーストラリア人。パディはカナダ人で、スペイン人やケニア人とともに作業をし、他にもさまざまな国の方と交流しました。私たちをつなぐ唯一のツール「英語」がありがたいために考えがうまく伝わらず苦労した面もありましたが、それ以上に自分の世界を大きく広げることができた5日間でした。

また、国内生との交流も大きな刺激になりました。研究のレベルや英語能力など、同世代でここまで差があるのかと思い知らされましたが、今後目指すべきところをはっきりさせることができたことは大きな成果だったと思います。

今回JSSFに参加したことで生まれた反省点や広がった人脈、視野を今後の研究や進路に活かしていきたいです。

ガスプロム教育センター(ロシア連邦)との交流を実施(11月8日)



3年10組 井上 椋太

私はこのガスプロム校との交流でさまざまな貴重な体験をしました。最初、昼食を食べながらの自己紹介ではすべてを理解することが難しかったのですが、自分の英語が伝わったときは嬉しいし、自分たちにはない他国の文化に興味を持つことができたので楽しかったです。次にロシアの人たちがパフォーマンスを披露してくれました。歌や踊りの発表、中にはわれわれのよく知る空手の演武もありました。それは繊細かつ大胆で、今でも目に焼き付いています。その後、日本ならではの文化である折り紙で鶴を折りました。ロシアの人たちにとっては身近ではない上に、折り方を説明しようとするとうるも英語が複雑になってしまいましたが、簡単な単語だけでも順を追って教えたなら理解してくれたので、伝え方の大切さを知ることができました。

今回の活動で実際に話さなければわからないことがあるという感覚が掴め、充実した時間を過ごすことができました。

大学院(博士課程)の中間発表会に参加(11月9日／湘南キャンパス)



3年10組 大山 淳樹

このたび、東海大学湘南キャンパスで行われた大学院総合理工学研究科(博士課程)の中間発表会に参加しました。私たちは大学院生たちが発表を行う前に口頭でのプレゼンテーションをしました。5分という短い時間、しかも英語による発表ということで、準備は大変でしたがうまく発表ができてよかったです。

次にポスター発表をしましたが、そこでは大学院生だけでなく、大学教授も私の発表を聞いてくださいました。発表についての質問やアドバイスをたくさんいただき、とても勉強になりました。

私は今回、学校の外に出て発表することが初めてだったので、うまくいかとても不安でしたが、練習よりもうまくできたのでよかったです。そして、ここでいただいたアドバイスや激励の言葉をもとに、私の実験をもっと良いものにしていけるよう精進していきたいと思っています。

SSH活動速報

12月 3日～ 科学普及活動
12月 6日～ アカデミックプレゼンテーションⅠ
12月 9日 高校現代文明論
12月10日 高校現代文明論
12月13日 公共科学論
12月14日～ サイエンス基礎
12月17日 高校現代文明論
12月18日～ 探究活動Ⅰ
12月24日 高校現代文明論

サイエンスコミュニケーター活動の開始(全26回)
CLILによる科学的な実験結果の分析演習の開始(全9回)
「現代文明の諸問題」学年発表会の実施
「忠臣蔵の真実」の鑑賞
国語科教員によるユニット授業「科学と想像力と公共」の実施
Gary Vierheller先生((有)インスパイア)他1名による科学プレゼンテーションの実施(全4回)
「現代文明の諸問題」学級担任によるワークショップの実施
中間発表スライド作成の開始(全4回)
「考えるための技術」模範ディベートの実施